

木材価格市況標準相場

令和5年7月3日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	6
米材役物製品	5
合板	1
(2) 値下げ品目	16
秋田	3
東海材	4
米材(製品)	2
北洋材・北欧材	4
合板	3

○今月の市況動向

6月の商況は、先月同様に荷動きは低調との報告が多かったが、「実際の商売は案外動いている」「荷動きの回復が見られる」「不足アイテムは価格も反発し始めた」などの声もあった。

(国産材) 構造材は、「荷もたれ感のある状態」が続いているが、注文材の動きは良い。スプルスや米樺の値上げも影響しているとの報告もあった。秋田では、山に残っている伐採された丸太の虫害の心配もあるとのこと。

(輸入材) 荷動きは悪いが、現地価格は下げ止まり、円安も加わり輸入コストはUPとなっている。その中でも、WFP社のカナダ樺は日本向けを増やしていて、価格の柔軟性もあるとの報告。米材役物では全品値上となった。

(合板) 国内針葉樹合板は、メーカーの減産効果もあり、底値に近付いている。またしても中国メーカーのJAS停止が発表されたが、現状影響は無いとのこと。輸入合板は、港頭在庫の大幅な減少が続いており、欠品アイテムが出ているとの報告であった。